

令和5年度

【1】

題名	働くお父さんを見て
本人氏名	宮寺 蓮希 (みやでら はすき)
性別	男
年齢	16
受賞者との続柄	子
<p>僕のお父さんは防水シーリングの仕事をしています。</p> <p>シーリング工といっても、どんな所でどんな仕事をしているのか僕にはあまり想像できませんでした。</p> <p>一度、仕事場に連れて行ってもらった事があります。</p> <p>とても広い場所に大きな建物を作っている現場でした。</p> <p>いくつかの行程を繰り返しながら作業を進めていくのですが、高い場所や狭い場所で作業しているお父さんを見て、とても驚いたのを覚えています。</p> <p>家での顔とは違う真剣な表情で細かい作業をととても丁寧に仕事をしている姿を見て、建物を建てるにはとても大切な仕事なんだと知りました。</p> <p>現場には多くの職人さんがそれぞれの場所で音の大きな機械や工具を使いながら作業をしていました。</p> <p>一つの物を作るのにはこんなに多くの人達の手が必要な事を知りました。</p> <p>その中の大切な役割を僕のお父さんが仕上げていると思うと、とても誇らしかったです。</p> <p>毎日、朝早くから仕事に行き、夜遅くに帰ってくるので、普段は顔を合わせない日もあります。</p> <p>いつも忙しく眠たそうにしている姿を見ると、仕事をするって大変なんだなと思います。</p> <p>でも僕から見たお父さんは仕事が好きで、大変でもとても楽しそうに見えます。</p> <p>僕も将来どんな仕事に就くのかは分かりませんが、お父さんのように仕事を楽しく出来る大人になりたいです。</p>	

【2】

題名	お父さんの仕事
本人氏名	山地 秀祐（やまじ しゅうすけ）
性別	男
年齢	13
受賞者との続柄	子
<p>僕のお父さんは建設会社で働いています。お父さんの仕事は瀬戸大橋の塗装をするための足場を組み立てたり、新しい橋や高速道路の道路の部分を作ったりしています。</p> <p>瀬戸大橋は海の上にある橋なので、そのままだと鉄の部分がさびてしまい強度が落ちてしまいます。</p> <p>そうならないように特殊なペンキを何年もかけて新しく塗っていきます。お父さんはそのための足場を組み立てています。その足場は柱の上まで海から何十メートルもある高さのところまで組み立てていて、とても強い風が吹く所で作業をします。僕だったらそんな高い所ではとても怖くて作業なんて出来ないけど、お父さんは全然怖がらずに仕事のでるので勇気があってすごいなと思います。</p> <p>新しい橋や高速道路の建設の仕事は、コンクリートで出来た新しい道路をクレーンで吊り上げて柱の上に乗せ、お父さんたちの手で次々と道路をつないでいきます。道路がどんどんつながると距離の長い高速道路が出来上がり、全国色んな場所へみんなが早く行けるようになります。この仕事もとても高い所で作業したり、大きくて重たいものを吊り上げて作業したり、とても危険な仕事です。</p> <p>お父さんは高い所から落ちないように体にたくさんの装具をつけて作業をします。この装備は高い所から落ちないようにするためのフックが2個付いていて体にベルトで固定していて、この装備がスカイダイビングの装置に似ているので僕はカッコいいなと思いました。</p> <p>それから、お父さんは夜の時間で仕事をする場合もあります。お父さんは朝まで眠くならず仕事のできるのですすごいなと思います。僕だったら眠くて我慢できないと思います。</p> <p>お父さんは職長という作業する人の体や命を守りながら、工事が安全に順調に進むように心がけるリーダーの役割もしています。職長は高いところや危険な場所でも怖がらずにいつも冷静でいなければならないです。僕もお父さんのようにそんな時でも怖がらないで、冷静にできるようになりたいなと思いました。</p> <p>僕のお父さんの仕事は世の中の人々が生活するのに絶対に必要なものを造るとても重要な仕事です。この仕事は誰かがやらなければならない仕事で、もし橋や道路が古くなって通るのが危なくなったり、地震や洪水とかの災害で流されたり壊れてしまった時に、この作業をしてくれる人が減ってしまうと、いつまでも危ないままだったり、壊れたままで通れなかったり、直すまでにたくさんの時間がかかるとみんなの生活がとても不便なままです。お父さんの仕事は人びとが生活するのにとても重要で大事な仕事で、これから何十年も人びとの生活を支えています。</p> <p>そしてお父さんが造った橋や道路は地図にものり、いつまでもみんなの記憶に残っていくのですすごいなと思いました。</p> <p>僕も将来お父さんのような人びとの生活に必要で、世の中のためになる重要な仕事をしたいなと思いました。</p>	

【3】

題名	大好きなお父さん
本人氏名	杉浦 秋斗（すぎうら あきと）
性別	男
年齢	11
受賞者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、道路や駐車場を作ったり直したりするお仕事をしています。</p> <p>目の前で仕事をしているすがたは見たことがなかったのですが、ユーチューブでどのような仕事をしているのか調べることが出来ました。大きな機械に乗って、かたい道路をはがしたり、けむりが出るくらい熱いアスファルトを上からかけていたりしていました。夏の暑い日にもこんなすごい事をしているのだなとおどろきました。ぼくはどうてい出来ない事を毎日しているお父さんの事を改めてすごいとそんけいしました。</p> <p>ぼくのお父さんは日曜日にしか休みはありません。とてもつかれていると思います。それなのに、一緒にゲームをしてくれたり、どこかへ遊びに連れて行ったりしてくれます。そんな家族のためにもがんばってくれるお父さんが大好きです。やさしいこの人が、お父さんでよかったと思います。</p> <p>ぼくにも何か手伝えることがあったら力になりたいと思っています。しかし、仕事のお手伝いはできないので、お父さんが家に帰ってきたら、あまり怒られることをしないでかたをもむなど、良いことをして休ませてあげたいと思います。お父さん達が仕事をしているおかげで、安心安全に車に乗れているのでかんしゃしかありません。これからも、体調をくずさず、仕事をがんばってほしいです。</p>	

【4】

題名	父の仕事
本人氏名	渡邊 流生（わたなべ るい）
性別	男
年齢	14
受賞者との続柄	子
<p>僕の父は、命と暮らしを支える仕事をしています。</p> <p>いつも、僕が学校へ行くより早く会社へ行き暑い日も寒い日も現場に出て、たくさんの人に指示を出し、取りまとめ毎日遅くまで働いています。</p> <p>働く父の姿を見ていると、とても大変な仕事なんだなあと感じます。</p> <p>でも、時々父と車で走っているときに『ここは父さんが仕事をしたとこだよ』と、大きな建物を指して、嬉しそうに教えてくれる父の顔を見たら、僕も少し嬉しくなります。</p> <p>父のしている配管などは、建物ができてしまえば、壁の中、天井の裏などに入っているパイプは見えなくなってしまうけれど、建物として自分のやった仕事が、何十年も形に残るのはとても達成感を感じられる仕事なんだと教えてくれました。</p> <p>最近テレビで、水道官が凍結して水が出なくて困っているというニュースを見ました。当たり前のように蛇口をひねれば、家でも学校でも水は出ますが、出なくなった時のことを考えるとご飯を食べたり、トイレに行ったりするのにとても困ります。改めて父の仕事は人々の暮らしに大切なんだなあと実感しました。</p> <p>しんどい事もたくさんあるだろうけど、日々の人々の生活の流れをつなぐ大切な仕事をずっと続けている父を僕は尊敬しています。</p>	

【5】

題名	父の姿
本人氏名	黒木 玲奈（くろぎ れな）
性別	女
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>私の父には2つの「姿」があります。</p> <p>1つ目は、「建設業」としての姿です。どんなに暑い日でも、寒い日でも天候が悪くても朝早くから仕事へ行き、夕方遅くまで頑張っている姿を見て私自身すごく刺激をもらっています。実際にお父さんが職長として携わった現場を幾つか見に行った事があります。どれも凄く立派で「お父さん、こんな仕事もしているんだ」と新たな発見をする事も出来ました。</p> <p>もう1つの姿</p> <p>それは「消防団員として地域を守る姿」です。</p> <p>火災が起こった時は、すぐに駆けつけ、また行方不明者の捜索に行ったり、台風が近づく時、その前日の夜から詰所待機を行い、地域住民の安全を守ってくれています。</p> <p>私は、日々一生懸命働いてくれているそんなお父さんを誇りに思います。そしてどんな時でも味方でいてくれるお父さん。たくさん迷惑をかけるけど、お父さんの娘でよかったです。</p> <p>これからも、安全第一で身体に気を付けてお仕事頑張ってね。</p> <p>いつもありがとう、大好きなお父さん❤️</p>	

【6】

題名	生き続ける家族の仕事
本人氏名	齋藤 花穂（さいとう かのん）
性別	女
年齢	12
受賞者との続柄	子

私のお母さんは、現場で鉄筋工の仕事をしている。私のお父さんと一緒にお母さんは現場に行く。私たち家族は、7人家族。おばあちゃんと、両親、姉弟4人。おじいちゃんは私が生まれる前に病気で亡くなってしまったけど、仏壇のおじいちゃんが鉄筋工だったとお母さんがいつも私たちに話してくれる。私の家族はお父さんとお母さんが早く家を出てしまうので、家族全員早起きだ。夜も早く寝てしまう。お母さんはお父さんより早く帰ってきて、私たちと一緒に過ごすけど、夜私たちが寝た後に明日の現場のことを確認したり、勉強したりしている。お母さんが現場で働いているところをお父さんが携帯電話の動画で見せてくれたけど、男の人ばかりで、道具を持って仕事をしていてお母さんは大丈夫かなと心配して聞いたら、「楽しいよ。」と言った。

お母さんに「どうしてこの仕事をするの？」と聞くと、

「かのんがお腹にいたときに、東北で地震があったって知ってるでしょう。3月11日。かのんは次の月の4月に生まれたよ。かのんがお腹にいて停電とか、お店が閉まって、食べ物を買うのにも困って、地震も続いてみんな不安な気持ちでいっぱいだったんだよ。テレビを見ていて津波でこわれた建物の中に鉄筋でつくった建物が流れないで残っていて、すごい仕事をだな。ってお母さんは思ってる。おじいちゃんがしてきた仕事はすごいな。お父さんが同じ仕事をしてくれてよかったな。お母さんはお父さんの力になりたいな。って思ってるんだよ。大変な仕事なんだけど、人の命を守れるし、人の役に立つ仕事だからいい仕事なんだよ。」と言った。

おばあちゃんと出かけると、消防署はおじいちゃんとおばあちゃんが鉄筋工で仕事に行ったんだよ。文化会館はおじいちゃんが仕事したんだよ。って車に乗りながらなつかしい顔をして、話してくれる。もうおじいちゃんはいないけど、おじいちゃんとおばあちゃんをつくった建物は生き続けて私たちはおじいちゃんの仕事を知ることができる。おじいちゃんの仕事の仲間がお父さんやお母さんに仕事を教えに来てくれる。

いつかお父さんとお母さんの仕事も私の子どもが見る日がくるのかな。

鉄筋の仕事は大変な仕事かもしれないけど、ずっとずっと後の未来まで残って、生活する人の命を支えることができてカッコいいし、すごいなと思う。

【7】

題名	父と建設技能者
本人氏名	鈴木 ひいろ（すずき ひいろ）
性別	女
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>私と父は、父が休み日以外夜にしか会いません。</p> <p>仲が悪いとかではなく、父は私が起きる前に出勤してしまうからです。そんな父は、建設技能者として働いています。</p> <p>私から見た父は毎朝早く起きて働いて土曜日も出勤していて、いつもだる絡みしてくるめんどくさい父ですが、凄いなと思います。</p> <p>日曜しか休みがないのに、私の部活動の送迎をしてくれたり、応援に来てくれたりするので、そんな父は自慢の父です。</p> <p>父の会社ではインドネシアからの実習生が来ていて、父は、その実習生を指導しています。他国との交流を深めることができ凄いと思います。</p> <p>建設技能者には、広い種類があると思うのですが、一人一人、いなくてはならない存在だと、私は感じました。</p> <p>個々の能力の高さだったり、意見、発想力など大切な事は沢山あると思います。</p> <p>そんな凄い世界で働く父を誇りに思い、これからも、誰かのために、誰かの役に立つように父らしく頑張ってもらいたいです。</p>	

【8】

題名	わたしのお父さんと家族
本人氏名	磯貝 柚奈 (いそがい ゆうな)
性別	女
年齢	11
受賞者との続柄	子
<p>わたしのお父さんは、瓦の工事をしています。わたしのおじいちゃんやいとこのおじいさん、住み込みのお兄ちゃん達とお仕事をしています。</p> <p>お父さんは、若い職人さんに仕事を教えるために、全国から住み込みでお兄ちゃん達を受け入れて、一緒に生活しています。</p> <p>わたしの生まれた時から、このような環境で生活しているので、お父さんのお仕事を通じてわたしにはたくさんの家族がいます。</p> <p>朝早くからお母さんやおばあちゃんは、みんなのお弁当を毎日作って、お父さんをお見送りしています。高いところでお仕事をしているので、心配にもなります。</p> <p>夜ごはんの時、お父さんはお兄ちゃん達とお仕事の話をしたり笑ったりしていて、とてもお仕事が楽しくて好きなのだなー。と思います。</p> <p>お父さんも小さい時から住み込みのお兄ちゃん達がいて、私と同じ環境で育ったようです。</p> <p>お父さんは、寒い時も暑い時も屋根の上で頑張ってお仕事をしていて大変なのに、お休みの日にはどこかに連れて行ってくれます。</p> <p>わたしから見たお父さんは、卒業したお兄ちゃん達を含めて全国に何十人もの家族がいて、それはきっとお父さんの人柄や頑張っている姿を見て、みんながついてきてくれているのだと思います。</p> <p>これからも、体に気を付けて大好きな瓦の工事通じて、いろいろなことで活躍してほしいです。</p>	

【9】

題名	私の将来
本人氏名	岡部 壮峻（おかべ そうしゅん）
性別	男
年齢	16
受賞者との続柄	子
<p>私の父は仕事人間という言葉がぴったりな人です。</p> <p>家では食事をしているかトレーニングをしているか図面を見ているか仕事の車を掃除しているか道具を磨いているか寝ているかちょっと大袈裟かもしれませんがほとんどそういう状態です。</p> <p>母が私に勉強や部活動、生活面において指導しているときも、時々父がアドバイスをしてくれるのですが必ず、「お父さんの仕事に例えると…」という感じです。</p> <p>いつも新しく挑戦する仕事や材料などの話を食事中、楽しそうに母に話しています。思うようにいかないときは家でもサンプルを使ったりしています。</p> <p>仕事の出来を確認するため家族サービスを兼ねて、自分が施工した新しい大型店舗に連れて行ってくれます。</p> <p>子供から見ても仕事大好きなのだと感じます。祖母から父が幼い時はシールを貼るのが好きだったことや手先が器用だったということを聞いたことがあります。その好きだったことを生かして自分の職業にして家族を養い毎日生き生きしていることは本当に尊敬します。</p> <p>あまりに楽しそうにしている父をみると簡単そうに仕事をしているように見えますが実際は大変努力しているのだと思います。それに辛いと愚痴をこぼしたところも見たことがありません。</p> <p>私もこれから自分の好きな事を見つけ、努力することを苦に感じずコツコツを積み重ね、父のように家族を幸せにしたいと思います。具体的な指導はありませんが辛いときはじっと耐えてチャンスを伺うその間も努力を積み重ねる、目の前の事に一生懸命取り組むことを忘れずに頑張ります。</p>	

【10】

題名	がんばるパパ
本人氏名	山田 釉葵（やまだ ゆあ）
性別	女
年齢	10
受賞者との続柄	子
<p>私のお父さんはシャッターの取りつけをしています。県外のお仕事ばかりで、家にいない事も多いですが、毎日電話してくれます。ショッピングモールに行くといつもシャッターをみてなんだか勉強してる様に見えます。大きなシャッターを見て、パパがとりつけたと教えてくれます。</p> <p>シャッターがしまっていくのを見た時にカッコイイと思い、パパがとりつけたのがうれしくなりました。</p> <p>夏は暑くて、いっぱいあせをかいて、冬や寒くて大へんそうだなと思っています。朝、私たちがねている間に出発して、帰ってくるのもおそい時があります。たくさん仕事をして来て、つかれている時でも習い事の送りむかえをしてくれたり、あそんでくれることがとってもうれしいです。</p> <p>マッサージをしてあげるとそのままねてしまう事もあるけどパパは家族のためにがんばってお仕事をしてくれているんだと思っています。パパもがんばっている所以我们も学校や習い事、お勉強もがんばれます。</p> <p>パパ、いつもありがとう！。これからも体に気をつけてお仕事がんばってね。お仕事をがんばっているパパが大すきだよ。</p>	

【11】

題名	シャッターやさんのパパ
本人氏名	山田 夏凜 (やまだ かりん)
性別	女
年齢	8
受賞者との続柄	子
<p>私のパパは、シャッターをつけています。</p> <p>わたしはパパのおしごとをしているところはみたことはないけど、みんなにおしごとをおしえていてカッコいいです。</p> <p>たくさんのだうぐをつけて、たくさんのもつをもっておしごとに行きます。おもそうでたいへんそうです。</p> <p>わたしがねてるときにおしごとへいきます。とおいところへもうんてんをしていきます。そんなパパが大すきです。</p> <p>パパのつけたシャッターを見たことがあります。とってもおおきくてびっくりしました。どうやってつけているのかなとおもっているの、いつかパパのおしごとをしているところを見てみたいです。</p> <p>わたしがおおきくなったら、わたしにもおしえてください。</p> <p>いつもがんばってくれてありがとう。大すき。</p>	

【12】

題名	おとうさんのしごと
本人氏名	新開 友翔（しんがい ゆうと）
性別	男
年齢	8
受賞者との続柄	子
<p>おとうさんはトイレやエアコンをとりつけるしごとをしています。いつも早くおきてしごとについています。ぼくがいくよていのちゅうがっこうのしごとをしたとおかあさんにききました。やすみの日はおとうさんといっしょにサッカーのれんしゅうについています。ともだちとやるサッカーはたのしいです。サッカーのしあいでてんをとれるようにがんばるから、おとうさんもしごとがんばってね。</p>	

【13】

題名	わたしから見たお父さんの仕事
本人氏名	岩下 夢佳（いわした ゆめか）
性別	女
年齢	17
受賞者との続柄	子

私の父は、橋梁の建設に関わる建設技能者として、長年働いています。父は自宅に帰ってきて仕事の話や現在携わっている建設現場の話をするのはあまりありません。また、休日は兄たちの部活動の応援やサポート、送迎など毎週末のように行っており、仕事の話よりも家族のことを優先してくれる印象です。そのため、私にとって、橋梁は学校生活を送るうえでの通学路の一部であり、当たり前存在でした。しかし、私のこのような認識を一変するような出来事がいくつかありましたので、その出来事を紹介したいと思います。

一つ目は、私が小学生の時、当時、父が携わっていた橋梁現場の現場見学会に父と一緒に参加した時のことです。当時、父から「今、自分が携わっている橋梁現場の現場見学会があるから、一緒に行こうよ」と誘われ、私自身、あまり興味はなかったのですが、ドライブができるからと思いつつ、一緒に行くことにしました。橋梁現場に到着し、工事中の現場を眺めると、まず初めに抱いた印象は、圧倒されるようなスケール感でした。また、現場見学会を通じて、父が現場に従事される方々と会話している様子を間近でみることで、日ごろ家庭内ではみせない父の姿に、誇らしい気持ちになりました。

二つ目は、熊本地震や九州北部豪雨など、私の身近で甚大な災害が発生した時です。日頃何気なく通っている橋梁ですが、甚大な災害が発生すると、日常の当たり前が失われます。失われて気づく日常の当たり前の有難さ、また、当たり前の姿に復旧する迅速さ、父のような建設に携わる方々が存在していることに感謝の気持ちが込み上げてきました。当時、父も災害復旧に関わる橋梁の現場に従事していたことを母から聞き、誇らしく思いました。

日頃から家庭内では、父と仕事のことに関して、話をするのはあまりありませんが、父の仕事である建設技能者の存在は、私たちが当たり前のように生活している日常を支えてくれる大切な、重要な仕事です。その一助を担う父の姿は私にとって誇りに思う存在であり、カッコよい父です。

【14】

題名	父の仕事
本人氏名	武政 虎太郎（たけまさ ことろう）
性別	男
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>僕は家族のために働く父を尊敬しています。そして今、海外に留学をさせてもらっていることにとても感謝しています。</p> <p>僕は毎日インターネットを使って、インスタグラムやユーチューブを見たり、オンラインでゲームをしたりしています。また週末には、遠く離れた日本の家族とテレビ電話をしています。海外で暮らす僕にとって、いつでもどこでも遠く離れた相手と話ができることはとてもありがたいことです。その便利さに驚きと、そのようなことが当たり前になっている世の中にありがたい気持ちです。</p> <p>そして、その便利なインターネットの基盤をつくっているのが、父たちの「電気通信工事」の仕事だと知り、僕はとても誇らしく思いました。また、地震や台風、洪水などの自然災害によって使えなくなった設備を直したり設備を守っていくことも仕事だと聞き、とても大変で重要な仕事をしているのだと思いました。</p> <p>現在、新型コロナウイルスによって学校ではリモートの授業が増え、会社ではテレワークが増えましたが、常に安心して使えるインターネットの環境がとても大切であることをすごく感じています。そして社会にとって重要で、社会に必要とされている仕事をしている父と会社の人たちを尊敬しているし感謝をしています。</p> <p>将来、僕も父のように社会の為、人の為になる仕事をしたいと思います。これからも社会の為、会社の為、家族の為にいつまでも元気に仕事をがんばってください。</p>	

【15】

題名	パパへ
本人氏名	竹田 相愛 (たけだ そあ)
性別	女
年齢	11
受賞者との続柄	子
<p>休みの日に眠たそうにしているのに毎月図書館に連れて行って来てくれてありがとう。やきんをしている時しんどいと思うけど、それでもがんばっているからすごいと思う。ねずに学校行事に来てくれてうれしかった。平日にある行事とか大変そうなのに、運動会や発表会とかの年に1度の大事な行事は来てくれるのはやさしいなと思う。お酒ばかり飲んだら、体に悪いし、あぶないからたくさんのはやめてほしいと思う。これからも安全に仕事してほしいと思います。体調とかに気をつけてがんばってね。</p>	

【16】

題名	パパへ
本人氏名	竹田 蓮翔（たけだ れんと）
性別	男
年齢	9
受賞者との続柄	子
<p>おたんじょうびの時に、休みをとって遊びにつれていってくれてありがとう。 休みの日に、いつも、家から手の練習をしてくれてありがとう。 日曜日にいつも夜きんしてたのに、ねずに遊んでくれてありがとう。 したい事があるときに、休みをとって手伝ってくれたり遊びにつれていってくれてありがとう。 学校は、短いけど、仕事は長いのに夜にはたらいいてすごいと思った。がんばってね。</p>	

【17】

題名	私のお父さんのしごと
本人氏名	野浦 朝日 (のうら あさひ)
性別	女
年齢	9
受賞者との続柄	子
<p>わたしのお父さんはうみにもぐるしごとをしています。</p> <p>お父さんはいつも朝早くにしごとに行くので、わたしが起きたら家にいません。</p> <p>朝はやくからしごとに行っても、家に帰ってきたらいつも遊んでくれるので、とてもうれしいです。海にもぐって何をしているのと聞くと、海の中でこうじをしているよ、と教えてくれました。</p> <p>わたしとおとうとは、お父さんは海にもぐって魚をつかまえていると思っていたので、海でおぼれないかとてもしんぱいです。</p> <p>お父さんおぼれないようにきをつけてね。</p> <p>これからもおしごとがんばってね。</p> <p>いつもありがとう。</p> <p>朝日より。</p>	

【18】

題名	父が私にくれたもの
本人氏名	澤里 菜々実（さわさと ななみ）
性別	女
年齢	16
受賞者との続柄	子
<p>「ブランコ・バルコニー・秘密基地」</p> <p>振り返ってみると、私の幼少期の思い出の中には、いつも父の作った作品がありました。父が私のために最初に作ってくれたのは、庭にあるブランコでした。一見誰にでも簡単に作れるものに見えるかもしれませんが、父が作ったブランコは私が怪我をしないように、木の板の角が削られていたり、落ちないようにすべらなくて掴みやすいロープが使われていたりなど、幼い頃は気づきませんでした。父が作ってくれたブランコには、父の技術や愛が込められていたんだなと今ではそう思います。</p> <p>バルコニーは、私が小学校低学年の時に父が作ってくれたものです。天気の良い昼にはバルコニーに寝そべて青い空や白い雲、赤とんぼや緑の山を眺めたり、星が綺麗な夜には寝そべて輝く星や月を眺めたり、色々な景色を見ることができるこの場所が今でも私は大好きです。このバルコニーは、私と自然とを繋いでくれました。</p> <p>秘密基地は、私が小学校中学年の時に父と一緒に作ったものです。扉を開けると、そこにはライトがあり、小さいイスがあり、畳がひいてあります。ひとつの小さな部屋のような場所です。私と父だけの秘密の場所です。友達と喧嘩した日、母と喧嘩した日、私はいつもこの場所に行きます。せまいけれど、怖くはなくて、むしろ暖かくて、私の気持ちを落ちつかせてくれました。私にとってとても大切な場所でした。</p> <p>私の今住んでいる家も父が間取りを考えました。天井が高くて開放感があるけれど、床の色に暖かみがあったり、窓が大きいので日光がたくさん当たったりして、とても落ち着きます。また、玄関が広かったり、収納スペースが多かったりと暮らしやすく、私はとても気に入っています。私が将来仕事を始め、違う場所に行ったとしても、帰ってきたいなと思える素敵な家です。</p> <p>父は私に、たくさんものを作ってくれました。いつのまにかあたりまえのようになっていきましたが、きっと父はここまでの技術を身につけるまでに、たくさん努力をしてきたのだと思います。私は父のように器用ではないので、人を喜ばす作品を作ることは難しいかもしれないけれど、私も父のように、人を喜ばすことができる何かを作ったり、人を笑顔にできる人になれるように頑張りたいと思います。父が私の父でよかったです。</p> <p>「いつもありがとう。これからもよろしくね。」</p>	

【19】

題名	わたしから見たお父さんの仕事
本人氏名	古畑 美涼（ふるはた みすず）
性別	女
年齢	11
受賞者との続柄	子
<p>わたしのお父さんは、東北電化工業で電気工事士の仕事をしています。いつも朝早く仕事にいて、夜おそくまで仕事をして帰ってきます。ときどき仕事で遠いところまでいくこともあるので、少しさびしくなるときもあります。でもお父さんがもらったしょうじょうを見ていると、とても一生けんめい仕事をがんばっているんだなと思いました。自分も大きくなったらお父さんみたいに仕事を一生けんめいがんばれる大人になりたいなと思いました。お父さんはやさしいときもあればきびしいときもあります。休みの日はいっしょに出かけたりかいものにいたりします。わたしがほしいものがあるといっしょにえらんでくれます。またD I Yも得意でわたしたちに手作りのハンモックやボルタリング、てつぼうを作ってくれます。いっぱい遊んでもこわれなくらいしっかりしてます。仕事でいそがしいかもしれないけど、いろんな遊び道具をいっしょに作って遊びたいです。</p> <p>わたしが心配なことが1つあります。</p> <p>お父さんの健康です。いそがしいと思うけど無理をしないでケガをしないように注意して、安全第一でこれからも仕事をがんばってください。</p>	

【20】

題名	私の父
本人氏名	清水 空葵（しみず あくあ）
性別	女
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>突然ですが、私の父は、ここ最近毎朝私が起きる前に仕事に行くので朝顔を見る事はほとんどありません。しかし、私はそれを淋しいと感じることもありません。</p> <p>何故なら、父は、日々皆がより住みやすい街づくり、自然豊かなこの地域を大切にする環境づくりをしてくれているからです。</p> <p>日本は島国だからでしょうか？世界の中でも自然災害がたくさん起こりやすい国の1つです。地震や大雪、台風など年間を通してどこかの地域で災害が起きている事をテレビで目にするのは、稀な事ではありません。</p> <p>私の父は、そんな災害で被害が拡大しないように備えたり、災害が起きた時の復旧をしたりする仕事をしています。</p> <p>大雨で河川の水が街にあふれてこないように、堰堤を整備したり、大雪の時は、主要道路がすぐに通行できるように除雪したり、時には私達が歩く道や通学路を道幅を広げ、以前よりも安全に通行しやすくしてくれたりもします。</p> <p>私は、そんな父を尊敬しています。父は、私や兄、家族の為に頑張ってくれているのは勿論ですが、皆がより安全により快適に生活する為のお手伝いをしているのだと思うと、とても誇らしく思います。</p> <p>それと同時に、心配な所もあります。それは、危険な仕事もあるからです。工事現場を見てみると、どの現場にも必ず安全第一と書いてあります。それは逆に言うと、それだけ危険も伴うからだと思います。父から、以前大きな重機を動かす作業をしていると聞いたことがあります。乗用車でも色々な所で事故は起こるのに、さらに大きな機械を動かすというのは、とても大変な事で、安全に作業しないと大きな事故も起こる可能性があるのかなと思います。</p> <p>さて、家での父はと言うと、週末には、夕食の時お酒を飲んでいつも楽しそうにしています。兄や私は、怒られた事がなく、とても優しいです。学校での出来事を聞いてきたりもするので、時には、友達のような感覚で話をする事ができます。私はそんな父が大好きです。</p> <p>地域の為、誰かの為になる仕事は、優しい父だからこそぴったりの仕事だと思います。安全と健康に充分気をつけて、これからも頑張ってもらいたいです。</p>	

【21】

題名	土木の仕事
本人氏名	秋本 航希（あきもと こうき）
性別	男
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>私は現在高校に通っており、土木について専門的に勉強しています。</p> <p>土木の勉強は難しく、理解するのが大変ですが、先生の話聞いた中で特にすごいな、父の仕事を誇りだなと感じたものはインフラについて勉強しているときです。</p> <p>私たちが現在当たり前のように生活できているのは、生活や経済、産業の基盤があるからなのだと勉強を通して学びました。ダムや河川、交通網や通信設備など身近にあるのが当たり前と感じているものでも、数え切れないほどの人や施設が関わって今の世の中があるのだと思いました。また、インフラの中でも私たちが生きるため、健康に生活するための電気やガス、水道などのライフラインもかかわっていると思います。私が学校に登校するまでも道路や電車、学校も関係しています。父が携わった高速道路を通る時もよく作ったなと感じます。</p> <p>私はインフラについて学び改めて土木の大切さ、土木作業の大切さについて再認識することができました。他にも私たちが今住んでいる家などたくさんの場面で土木の仕事が関わっています。色々な方の苦労や努力があつての現在だと思います。これからもきっとたくさんのが新しくなり、便利になっていくと思います。それでも私たちのため、世の中のために働いてくれていることを忘れず、感謝して生活することが大切だと思います。</p> <p>私も土木の勉強を頑張り、立派な公務員（土木じゃないですが(笑)）になれるように頑張ります。</p>	

【22】

題名	僕のおじさん
本人氏名	西野 晴太郎（にしの せいたろう）
性別	男
年齢	17
受賞者との続柄	甥
<p>僕のおじさんは森長組という淡路島にある建設会社に勤めています。いつも道具一杯載せた車であちこちに行って仕事をしていると聞きました。道具は一杯載るように棚を作って、きれいに整理してのこぎりや金槌、電動工具や小さな発電機までありました。一度車の掃除をするのを手伝ったことがあるのですが、次から次に道具が出てきて驚きました。そしてその道具一つ一つがとても手入れされていて、おじさんの仕事道具を大切にしていることに感心しました。一流の職人は道具をととても大切にするとTVで見たことがありますが、僕のおじさんの道具を見てきっとおじさんも一流の職人さんなんだなと誇りに思えました。</p> <p>普段はニコニコしていつも僕をかわいがってくれるおじさんですが、近くで仕事をしていると聞いて一度こっそり見に行ったことがあります。そこではおじさんはとても真剣な顔で仕事をしていて、ぼくも少し緊張しました。時折大きな声で指示を出したり、見せてくれた道具を使って仕事をしている姿がとてまかっこよかったです。隠れてみていたのですが、おじさんが気付いて手を振ってくれた時はいつもの優しい笑顔のおじさんでした。そのギャップに驚き、ほっと安心したのを覚えています。</p> <p>夏は暑い中、冬は寒さの中、あのいっぱい道具を使って毎日仕事してるおじさん。おじさんが造ったものはあちこちにあり、僕らの生活の一部としてあります。おじさんをはじめ、建設業で働いている方々には感謝しなければいけないと思いました。</p> <p>いつも僕の頭をなでてくれているおじさんの大きなごつごつした手に僕もなれたらなと思ひながら自分の手を見つめました。これから僕は将来まだどの道に進もうかまだ答えを出せずに悩んでいます、その道に行こうと決めてもおじさんのひょうな一流になろうと思いました。おじさんは僕の目標であり、憧れです。これからも身体に注意して頑張っで欲しいです。</p>	

【23】

題名	おいちゃんのしごと
本人氏名	小原 悠（おばら ゆう）
性別	男
年齢	10
受賞者との続柄	甥
<p>ぼくのおいちゃんは、道路のしごとをしています。 あなが空いた道路や、でこぼこになっている道路をキレイに直してくれます。 夏のとても暑い日や、冬のすごい寒い日もがんばっておしごとをしています。 お休みの日は、いっしょに遊んでくれるおもしろいおいちゃん大好きです。 これからもケガをしないで風邪をひかないように、キレイな道路をつくるおしごとをがんばってください。</p>	

【24】

題名	お父さんは、なぞの潜水士
本人氏名	神 海凧（じん みなぎ）
性別	男
年齢	12
受賞者との続柄	子
<p>「僕のお父さんは、潜水士です。」</p> <p>と言うと、ほとんどの人に海で人を助ける仕事だと思われて「すごいね。かっこいいね。」と言われます。</p> <p>だからぼくは「ちがうよ。海の中で港の土台を作ったり、テトラポットの見えてない下の部分を組み立てる仕事だよ。」と言うと、あまり分からないのもあって少しがっかりされます。僕も小さい頃、お父さんに仕事の話聞いた時、人を助ける潜水士の方が、かっこいいと思っ少しがっかりしたけど、今はちがいます。</p> <p>お父さんは、僕が起きる前に仕事に行くし、外に居るだけでも凍えそうな位寒い夜でも海にもぐって仕事をします。僕だったら心臓が止まってしまうと思います。</p> <p>出張があったり、日曜日でも仕事があったり、さみしい時もたくさんあるけど、家に居る時はたくさん遊んでくれるお父さんが優しくて大好きです。</p> <p>なぞの潜水士は、とても大変そうで、とてもかっこいい僕のお父さんです。</p>	

【25】

題名	私のお父さん
本人氏名	藤橋 真央（ふじはし まお）
性別	女
年齢	14
受賞者との続柄	子
<p>私のお父さんは型枠大工という仕事をしています。朝は5時に起きてお母さんの作ったお弁当を持って毎日、元気に出かけて行きます。私はお父さんが出かける時間にはまだ寝ていますが、雨の日も、雪の日も、風の日も、毎日休まず仕事に行きます。天気の悪い日は休んでいるのかな？と思いお父さんの部屋をのぞいて見ますが必ず仕事に行っています。私は朝起きて雪がたくさん降っているのを見ると学校まで歩く時間が普通の時の2倍になるのでつらいな、と思いますが、どんな時でもお父さんは当たり前のように仕事に行くのですごいと思います。</p> <p>お父さんに型枠大工という仕事は大きな建物や道路や橋の土台を作ることだと教えてもらいました。休日に家族でドライブに行くと高速道路にかかっている大きな橋や町に建っている大きなビルを指さして「あの土台はお父さんが作ったんだよ」といつも教えてくれます。それを聞くと私の何十倍もある大きなコンクリートの台を作れるお父さんは本当にすごいと思い友達にも自慢したくなります。お母さんも「この道を通るたびにこれから何十年もお父さんが作った土台があると思えるね！すてきな事だね」と言います。</p> <p>お父さんはいつも私に「どんな事でも面倒くさがらず、ていねいにやりなさい」と言います。きっとお父さんはそんな気持ちで仕事をやっているんだと思うと私も勉強や、やりたくない事ももっと頑張らなければいけないなと思います。</p> <p>少し前にお父さんが仕事から帰ってきてお母さんに「元請さんから建設マスターに推薦された」と、とてもうれしそうに話していました。私はそのことを聞いてポケモンマスターを思い浮かべました。そしてすごくカッコいいなと思いました。私も将来、大人になって働くことになったらお父さんのように人に誇れて自分の子供にかっこいいと思われる仕事につきたいです。</p>	

【26】

題名	私のお父さんの仕事
本人氏名	小川 実紗紀（おがわ みさき）
性別	女
年齢	10
受賞者との続柄	子
<p>私のお父さんは、「ほそう」の仕事をしています。</p> <p>ほそうというのは、道をアスファルトやコンクリートで固めて強くして、きれいにする仕事です。</p> <p>そのためには、いろいろなきかいを動かさないといけないので、きかいのしかくをたくさんもっています。そして、お父さんがげんばで使うしかくをとるために、朝早くおきて勉強したそうです。</p> <p>仕事でつかれているのに、朝早くおきて勉強をしてしかくをとったのは、すごいと思いました。</p> <p>私は、お父さんが仕事をしているところをあまり見たことはないけれど、日曜日にドライブに行ったとき、「この道路はお父さんが造ったんだよ」と聞いて、こんなに長くて大きい道路をつくって、すごいと思いました。</p> <p>朝おきたら、もう仕事にいつている時もあるし、夜もおそくにかえってくる時があります。</p> <p>お父さんとは、日曜日の朝ぐらいしかゆっくり朝ごはんをいっしょに食べることはできないけれど、けがとかをしないように体に気をつけてがんばってほしいと思います。</p> <p>私も、大きくなったら、お父さんみたいに、たくさんしかくをとって、地図にのこるしごとがしたいです。</p>	

【27】

題名	おじいちゃんの仕事
本人氏名	重松 菫榎（しげまつ しゆな）
性別	女
年齢	9
受賞者との続柄	孫
<p>わたしのおじいちゃんは大きなきかいに乗って仕事をしています。大きな地しんがあったとき、道にはいろいろなものが流れてきたり、木がたおれてたりわれたりして通ることができませんでしたがおじいちゃんは毎日がんばってそこに行ってみんなが通れるようにいろいろなものをどかしたそうです。</p> <p>道をあたらしく作る工事もしています。山をけずったりして地面を平たくします。おじいちゃんはコンピューターの画面がついているショベルカーも運転します。コンピューターに算数を手伝ってもらって土をけずるそうです。そうするとずれたりすることがないように上手にぴったりと工事ができることも教えてくれました。なのでコンピューターの勉強もしています。勉強することは多いけど大きな工事ができて楽しいといつも言っています。おじいちゃんの仕事場をお母さんとおばあちゃんと遠くから見に行ったことがあります。とても大きなショベルカーを運転しているおじいちゃんはずごくかっこよかったです。</p>	

【28】

題名	お父さんの大切な機械
本人氏名	谷口 玄真（たにぐち はるま）
性別	男
年齢	12
受賞者との続柄	子
<p>僕が小さい頃から目が覚めるとお父さんはいつもいません。お父さんの仕事は朝が早く、お弁当を作るお母さんも大変です。夏の暑い日も冬の寒い日もお父さんは朝が早い。お父さんに「何でいつも朝が早いの」と聞いたことがあります。</p> <p>「仕事が始まる前に職場の機械の点検しないといけないから朝が早い。機械も人と同じで手入れしないと100%の力が発揮できないからね。」と教えてくれました。</p> <p>僕が小さい頃に休みの日にお父さんの職場に連れて行ってもらったことがあります。夏なのに少しひんやりとした山おくにダムを作っている職場で、大きな穴を掘っている最中でした。職場には、大きな機械が止まっていました。「これは何をやる機械なの」とお父さんに聞くと、「これはバックホウといってスコップのように土を掘る機械だよ。乗ってみようか!」とポケットからカギを取り出して、僕を膝に乗せてエンジンをかけるとバックホウはゴーと大きな音を上げ動き出しました。おどろいている僕を笑いながら、バックホウを回転させながら土を掘り出しました。お父さんが機械を操作すると人の手足のように動きます。</p> <p>「お父さん、上手だね!」と僕が言うと</p> <p>「当たり前だよ。お父さんは機械を大切にしているから、機械が力を貸してくれるんだ。」</p> <p>昨日、お母さんが嬉しそうに「お父さん、機械仕事が上手だから国土交通省から表彰されるみたいよ」と教えられました。</p> <p>「お父さんは機械を手足のように操作するから当たり前だよ!」とお母さんには答えただけど、とても嬉しく、ほこらしい気持ちになりました。</p> <p>機械を大切にし、機械を手足のように操るお父さんは僕の自慢のお父さんです。</p> <p>最近はお父さんの職場に行く機会がありませんが、またお父さんの大切にしている機械に乗せて欲しいです。</p> <p>お父さん、これからも僕たち家族、大切な機械のためにも早起き頑張っね。</p>	

【29】

題名	父の仕事について感じている事
本人氏名	山下 藍 (やました あい)
性別	女
年齢	17
受賞者との続柄	子
<p>私は、父の仕事を誇らしく感じます。</p> <p>私の父が勤めている会社では、お正月に家族で社長のところへ挨拶に行くのですが、そこでは同僚の方々のご家族と、食事を共にして談笑しながら過ごします。</p> <p>私が小さいころから体験してきたことなので、会社の雰囲気や社員の皆様の人柄の良さなど身をもって感じています。なので私は、父はいい環境で働いていると考えています。</p> <p>そんな父は、どんな仕事をしているのでしょうか。私が知る父の仕事は、大きくまとめると二つあります。一つ目は、物を造る仕事で、二つ目は、書類をまとめる仕事です。</p> <p>一つ目の物を造る仕事は、実際に工事現場で働いている姿を見る時や、服を脱いだ時の体格の良い姿、そして作業服が真っ黒く汚れて帰って来た時の姿を見ると、今日も仕事を頑張ってくれたんだなと感じ、胸が熱くなるのを感じます。</p> <p>二つ目の書類をまとめる仕事は、稀にみる機会があるのですが、書類の内容を見ると理解することが難しく、それを足りない箇所を見つけ、すらすらと書き込み書類をまとめていく父の姿を見ると、物凄い父と感じます。</p> <p>そんな父は家では、頼んだ事は、すぐ聞いてくれ、問題が起こると真っすぐに向き合ってくれる父です。なので仕事に対しても真っすぐに向かい合い、様々な問題が起こったとしても、試行錯誤して取り組んでいける父だと考えます。そんな父を娘から見ると、頑張ってくれている父の仕事を誇らしく感じます。</p>	

【30】

題名	お父さんは、プロフェッショナル
本人氏名	長山 明樹（ながやま あすき）
性別	男
年齢	12
受賞者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、車の運転のプロです。</p> <p>大型トラックやパワーショベルや、ちっちゃなクレーン車など、工事現場にある車は、なんでも運転できます。</p> <p>ぼくやお兄ちゃん達が小さかった時、お休みの日にちいさなユンボーにも乗せてもらいました。</p> <p>そのことをぼくの友達に話すとみんなに「いいなあ～」と言われました。</p> <p>その時にぼくはみんなのお父さんは、運転できないのかなと不思議でした。</p> <p>お父さんはお休みの日でも、おじいちゃんやお父さんのお友達にお願いされると、ちいさなユンボーで畑をたがやしたり、駐車場を直したりすることもあります。</p> <p>ぼくのお父さんは、本当にユンボーが好きで、なんでもできる工事現場のプロだと思います。</p> <p>夏の日には汗びっしょりで作業服もびっしょりで黒いTシャツには汗で白いもようができることがあります。冬の日には、家族が眠っている、まっ暗でさむい時間にみんなを起こさないように静かに仕事にでかけます。</p> <p>ぼくは、お父さんに「いってらっしゃい」とアメ玉をあげたいけど、ぼくは眠くて起きられません。だけど、ぼくが休みでお父さんがお仕事の日にはぼくが早く起きることができた時にお弁当を作ってあげると、とってもよろこんでくれます。</p> <p>また、早く起きることができた時は、「ぼくがお弁当を作ってあげるよ」と「仕事がんばれ」を言うと決めています。</p> <p>ぼくはお父さんみたいな大人になりたいです。</p>	